



あかまつ

那須大学ニュース

Vol.10

平成15年3月10日(月)発行
発行/那須大学 広報委員会

卒業生を送る



■須賀学園理事長
須賀 淳



第1期生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。皆さんは、本学の草創期に在学し、本学の気風と伝統を自らの手で作っていくという進取の精神のもとに、教職員や学友と一緒に努力し、よく頑張ってくださいました。それが社会にも評価され、就職・進学内定率は、ほぼ100%という立派な成果をあげたことは、私たちはもとより、地域の方々など那須大学関係者すべての喜びとするところです。

卒業後も、本学で培った専門的知識、「個性」や「感性」を十分に發揮され、また社会人や日本人・留学生との交流の経験を生かし、本学に学んだ自信と誇りをもって有為な社会人となっていただきたいと思います。



那須大学ではこんな科目を学ぶ・10

都市の歴史と現在、そして未来を考える
都市生活と技術
里居 和義 教授

■講義の予定

表題	紹介するモノ
1 都市の成立	水、交通
2 都市の衰退	エネルギー、廃棄物
3 古代都市	都市住宅、中心公共施設
4 中世都市	広場、公園
5 バロック都市	宮殿、市場
6 コークス都市1	住宅問題
7 " 2	衛生問題
8 郊外都市1	高層ビル、エレベーター
9 " 2	郊外電車、ニュータウン
10 " 3	自動車、高速道路
11 都市の現在と将来1	情報ネットワーク
12 " 2	自然環境、環境問題
13 " 3	LRTとシネマコンプレックス

エレベーターが自動車が発明されていなかつたら今の都市はどうなっていたでしょうか?古代から現代に至るまで、都市が成立するための決定的条件は水と交通であることを知っていましたか?

身の回りにあって、よく解っているよう意外と解っていないのが都市の物の環境です。

この講義は、都市の歴史を辿りながら都市を構成する様々なモノを紹介して行きます。

ギリシアの都市はなぜ現代の住宅都市と似ているのか?中世都市とバロック都市がある、なぜゼルネサンス都市がないのか?郊外都市はどうして成立し、これかうなるのか?

モノを通して、時代を飛び越え現代までつながる問題を考えていきます。

N 那須大学
入試委員会からのおしらせ

FIGHT!

平成16年度 入試情報
入学試験の予定

具体的な日取りは平成15年6月頃配布

入試区分	試験期間
AO入試	7月~3月 随時
公募推薦入試	11月中旬
特待生入試	12月末
一般入試 I 期	1月末
II 期	2月末
III 期	3月末
センター試験利用入試 I期	書類のみ
II期	
社会人特別入試 I期	12月末
II期	2月末
外国人留学生特別入試	1月末

私のゼミはこんなゼミ・9

**宮崎ゼミ**

宮崎 洋司 教授

私たちのゼミでは、「活気があり成長する」まちの条件を都市とミクロな経済活動の具体的な関わり方を通じて考えています。2・3年次にはJ.ジェイコブス「アメリカ大都市の生と死」、E.ハワード「明日の田園都市」等をテキストに理論学習し、宇都宮中心部等での野外実習で実証・実感できるようにしています。4年次には社会見聞も兼ねた卒論のテーマ探しになるべくまちなか(神田の古本屋街・うまい店巡り等)へ出掛け、楽しみながら卒論を完成させます。

■ジェイコブスとハワードの都市論の比較

	J.ジェイコブス	E.ハワード
都市論	大都市の下町論	田園都市(村的共同体)論
価値理念	多様性	自然と都市的生活の共存
活気があり成長するまちの条件	・混用地域の必要性 ・小規模ブロックの必要性 ・古い建物の必要性 ・集中の必要性	・住民主体の都市・土地経営 ・ヒューマンスケール(連環都市、クラスター開発) ・都市機能の自己充足

サークル紹介・9

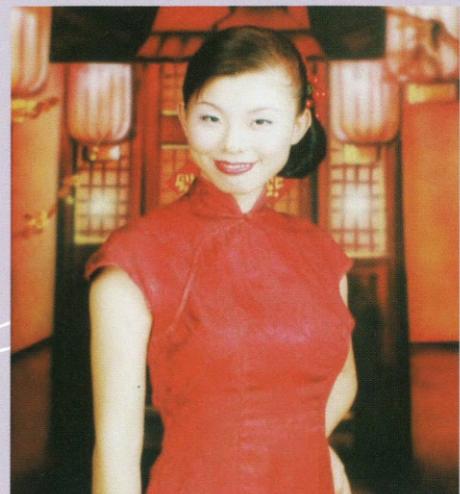
**文芸**

文芸部では一人一人が得意な分野に挑戦しています。エッセイ、短歌、俳句、詩などです。豊田有吾君に聞くと、活動は主に放課後。時には、オリジナル広告や新聞、本の制作にも取り組み、部員間でリレー小説を作成するなど、幅広く文章の勉強をしているそうです。文芸に興味のある方、読書が好きな方、是非入部申込をして欲しいそうです。

最後に作品として、詩を2編紹介します。

自然	「思」	「滤」
三年 豊田有吾	三年 佐々木貴宏	
外へ出ると美味しい空気が 自分の心の中に流れてくる	ともに歩く坂 ともに囲む圍炉裏	
野原へ行くと緑がたくさん 小鳥の声を聞きながら	ともに催す宴会	
自然は人間の為にあるもの 無駄に無駄にはしたくない	白く 白く白く	
いつもでも澄み渡る青空のように ともに白くなりゆく	白く 白く白く	
いつまでも	白く 白く白く	
ともに白く 白く	白く 白く白く	

読むこと、書くことが好きな方、入部をお待ちしています。

**4年生 楊 蕾**

私は、小さい頃から切り絵をやっています。でも、きちんと教わった訳ではなく単に紙やはさみを動かすことが好きで続けてきました。自己流ですが、私の作ったものを好きになってくれたり、譲ってほしいとか教えてほしいと声をかけられる、とても嬉しくなります。多分、切り絵作りは私のストレス解消法なのかもしれません。時には何時間も続けて作ったりしてますので、ホント夢中になっているんだなと思っています。

中国切り絵は、本来、民間芸術の一種です。まだ窓ガラスが普及してなかった時代の中国人家での窓飾りや祝い事の飾りとして使われ、それは女の子の花嫁修業の一つでもありました。現在はそれほど必要とされなくなったので、ほんの一部の人しか作れなくなってしまったというのが現状です。その中でも



最近では観光客やインテリア用の新しいビジネス商品として注目を集めています。

私の在日の間、切り絵を通じて母国文化を日本の皆さんに紹介し、理解していただければ嬉しいと思います。



学生の目線から
ゼミナールを語ってもらいます

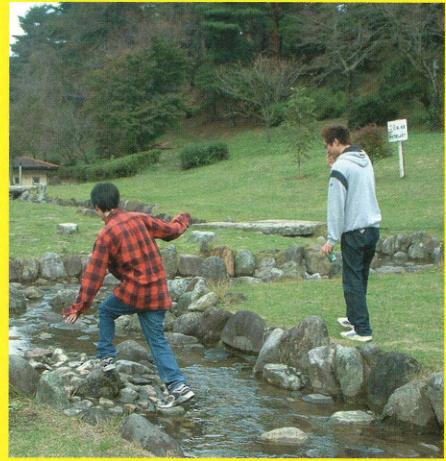


那須大学で過ごした4年間は、こんな生活でした。

私の4年間の思い出

- 大学祭への取り組み、早くからの就職活動と内定……、那須大学4年間の学生生活には全く悔いがありません。(鷲淵朝久)
- テニスサークルを立上げ初代部長を務め、同輩後輩とは学内外での付き合いを持てました。まさに交友の原点はサークルでした。最近は社会に対する関心も増し、社会人も悪くはない、と思う日々です。(畔上友男)
- 入学当初は那須大学イコール日本社会でしたが、地元の中学校や高校の生徒たちと先生方との国際交流や、周囲のコミュニティとの接触を通して、「住んでみなければその国のことわざはわからない」ことを実感しました。また日本人ひとりひとりの個性も理解出来るようになりました。この4年間で築かれた友人関係はこれからもずっと続くと思っています。(ヴィカース・カティヤール)
- 1期生としてサークルも大学祭もゼロから始める難しさと楽しさを味わいました。大変だった事ほど記憶に残っています。車で日本のあちこちを自由気ままに回り、景色と人に触れた事も良い思い出です。(橋本近)
- 3年生の時に、このままだと4年間が惰性で終るのではないかと危機感を感じ、心機一転、自主的に行動する事にしたのが大きな思い出です。授業に出て質問する、図書館で勉強する、を実行し始めて、急に自分はやればできると、進路も見えてきました。(河口勇輝)

生態回廊を極める



昨年の大学祭、来場者の目を引いた巨大な大久保教授の画像!そこは大久保ゼミの二年生仲間の研究展示の教室でした。“那須野ヶ原に‘生態回廊’は可能か”、エコミュージアム、エコヴィレッジ、砂漠化問題のテーマを研究した成果でした。

「夏休み返上で、文献検索、資料の調査にみんなでがんばった。」「展示物は無機質な感じのワープロは排除し、手書きにこだわった。」「地元の人から『この辺はもっと自然が残っていますよ』など意見を頂けて嬉しかった」等々、彼らはこの研究を通して、「環境共生都市」の必要性を実感したそうです。動物や昆虫などあらゆる生き物が住めるよう生息地の連続性を高める生態回廊を作り、目指すは「総合的環境教育のエコロジー田園都市づくり」。果して那須大学周辺でそれは実現できるのか?!. この研究はまだまだ続きます。



私はこうして進路を決めた／後輩の皆さんへ

- 接客や営業の仕事をしたいと思っていました。説明会で人事の方と話して、「ここなら人間関係を築いて自分のお客様が作れるのでは」と直感しました。大学の就職講座のグループディスカッションを経験しておいて役立ちました。(伊藤絵美)
- 小さい頃からホテルマンに憧れ、コンビニでのアルバイトでは接客業に向いている事を確認出来ました。(五月女聖)
- 大学院に進む事が出来たのは、この4年間の勉強と、指導して下さった先生方のおかげだと思い、感謝しています。(金真朱)
- 会社訪問と説明会参加は早くから行いました。面接でははきはき答えるよう心掛けました。(石島恭光)
- 宅地建物主任者試験には1年生のうちから挑戦し、選択科目も不動産関連に力を入れました。インターンシップも不動産会社に参加し、何社も訪問して不動産会社に内定を頂きました。(降矢秀喜)
- 公務員は決まる時期が一番遅いため、多少の心配と迷いもありましたが、最後は公務員試験に全てを賭け、自分の一番したい仕事を選ぶ事ができました。(根岸邦行)
- アルバイトの経験も生かして、接客系の会社を積極的に当たりました。落ちても練習くらいのつもりでアタックしたおかげで成功したと思います。(石田慶樹)
- 早くからいくつもの会社を当り、最後は地元の商社に採用して頂きました。決め手は面接と、自分の体験を含めた個性ある内容の作文だと思います。(渡辺陽)
- 大学院へ進むために、数学、英語が重要なので、自分で独自に勉強しました。またこれはという科目については先生に教科書を紹介して頂いて自分のノートに勉強内容を整理しました。もちろん勉強だけでなく、交友やスポーツも楽しみました。(王毅)

卒業生に送る／教職員の言葉

- ご卒業おめでとうございます。いつでも気兼ねなく遊びに来て近況報告などを聞かせて下さい。(事務局・高橋晋吾)
- 卒業おめでとうございます。皆さんの入学と共にこのサービスセンターもスタートし、4年間、皆さんには母親のような気持ちで接することができました。私にとっては一つの宝の、良い出会いでした。今後の活躍を祈っています。(那須大サービスセンター・室井幸子)

- 国際化する21世紀の経済社会の中で力一杯活躍して下さい。

なおこの4年間、大学運営と教學に熱心に取り組まれ、ご尽力下さった一河学長に心から感謝申上げます。



一河秀洋学長

Voice 学生・教職員の声

1999 ■ 平成11年度	2000 ■ 平成12年度	2001 ■ 平成13年度	2002 ■ 平成14年度	2003 ■ 平成15年度
4月 5 6 7 8 9 10 11 12 1 3	4月 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4月 6 7 8 9 10 12 3	4月 6 7 8 9 10 12 3	4月 6 7 8 9 10 11 1 3

第一回卒業式 新カリキュラムによる授業始まる 第5回入学式	第二回オーランキンバースト 黒磯市教育委員会開催 全6回シリーズ 那須大学で始まる 講師 那須大学教員	第三回大學開催「二十世紀型進化形那須大」 那須大学「あかもつ」第5号発行 那須大学「あかもつ」第6号発行 那須大学「あかもつ」第7号発行 那須大学「あかもつ」第8号発行 那須大学「あかもつ」第9号発行 那須大学「あかもつ」第10号発行 那須大学「あかもつ」第11号発行 那須大学「あかもつ」第12号発行 那須大学「あかもつ」第13号発行	第四回入学式 宇都宮市環境共生都市講演会、都市経済セントラル主催で開催 第一回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第1号発行 第二回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第2号発行 第三回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第3号発行 第四回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第4号発行 第五回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第5号発行 第六回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第6号発行 第七回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第7号発行 第八回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第8号発行 第九回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第9号発行 第十回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第10号発行 第十一回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第11号発行 第十二回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第12号発行 第十三回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第13号発行	第一回卒業式 初めての学生卒業 那須大学「あかもつ」第10号発行 卒業式特集号 大学入試センター試験、那須大学で実施される 講師 那須大学教員 実践経営学会全国大会、那須大学を開催される 実践経営学会全国大会、那須大学を開催される 宇都宮市環境共生都市講演会、都市経済セントラル主催で開催 第一回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第1号発行 第二回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第2号発行 第三回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第3号発行 第四回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第4号発行 第五回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第5号発行 第六回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第6号発行 第七回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第7号発行 第八回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第8号発行 第九回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第9号発行 第十回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第10号発行 第十一回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第11号発行 第十二回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第12号発行 第十三回オーランキンバースト 那須大学「あかもつ」第13号発行
-------------------------------------	---	---	---	---

History

4年間の主な行事

